

## □地域福祉活動計画の施策体系□

## 基本目標① 互いを気にするきずなづくり

## 取組方針① ご近所力(互近所力)の向上

## 取組 1 身近な地域・福祉を知る機会の充実

⇒一人ひとりが地域に関心をもてるような意識づくり、ゆるやかな隣近所とのつながりを目指し、福祉座談会、興味をもてるような勉強会の活用なども示します。

## 取組 2 身近な活動者の情報共有・連携強化

⇒地域で活動する団体の理解促進とつながりの強化、活動手法を共有化する場づくりや重複する趣旨や内容の活動の共催化等、効果的な事業の展開を示します。

## 取組 3 地域福祉活動計画の周知

⇒市民アンケート、地区別アンケートでの「計画を知らない」との声を受けて、この計画を広く周知するための方策を示します。

## 取組方針② ふくしの情報提供機能の充実

## 取組 1 わかりやすい情報の提供

⇒多様な情報提供方法を活用した、地域・福祉活動の「見える化・見せる化」の充実について示します。

## 取組 2 情報を必要としている人への支援

⇒情報を得ることが難しい方に対して、情報を得やすい方法や仕組みづくりについて示します。

## 取組 3 社会福祉協議会の理解促進

⇒身近な困りごとへの関心を高め、分野を問わず活動につなげる社会福祉協議会について、理解できるように示します。

## 基本目標② 繋がりを広げるまちづくり

## 取組方針① 孤立させない取組の強化

## 取組 1 見守り活動の推進

⇒見守りや声かけ活動等、一人暮らし高齢者や障がい者世帯等の社会的孤立防止の取組などを示します。

## 取組 2 支え合いの地域づくりの推進

⇒地域共生社会の実現に向けて、日常生活を地域全体で支える仕組みづくりなどを示します。

## 取組方針② ふれあいを育む場の推進

## 取組 1 住民交流の場の充実

⇒地域の交流行事や世代間交流行事の充実、同じ悩みを抱えている人同士が交流できる場の充実などを示します。

## 取組 2 ふれあいの場を担う活動者の支援

⇒サロンや交流行事の担い手に対して、関係者同士の交流や情報交換の場（顔の見える場）づくり、活動の活性化のための情報の充実などを示します。

## 取組方針③ 多様な主体と連携した地域づくりの推進

## 取組 1 地域の団体同士の情報共有・連携強化

⇒企業や事業所等、多様な主体や関係機関同士の情報共有、お互いの強みを活かした連携強化を示します。

## 取組 2 多様な主体の地域活動への参画の推進

⇒市民、地域団体、企業など、様々な主体の地域活動参画の推進。社会福祉法人の地域における公益的な取組と地域福祉活動の関係構築などを示します。

## 取組方針④ 相談・支援体制の充実

## 取組 1 相談体制の充実

⇒日常生活に生じる様々な課題に対する、分野を越えた相談支援の取組などを示します。

## 取組 2 権利擁護の推進

⇒日常生活自立支援事業、成年後見制度の普及啓発、市民の参加による権利擁護の推進などを示します。

## 基本目標③ 地域を支える人づくり

## 取組方針① 地域で活動する人材の育成

## 取組 1 担い手の育成

⇒幅広い人材を対象とした講座の開催や、地域活動の担い手の育成などを示します。

## 取組 2 福祉教育（福祉共育）の推進

⇒学校等と連携し高齢者や障がいのある方を理解するなどの福祉教育。体験を通して関係者が共に学び、育ち合える取組を示します。

## 取組 3 小地域福祉活動の推進

⇒地区社会福祉協議会活動の運営支援、小地域ごとの福祉活動について示します。

## 取組方針② ボランティア活動の活性化

## 取組 1 ボランティア活動の推進

⇒気軽にボランティア活動に参加しやすい仕組みづくりと、効果的な情報発信などを示します。

## 取組 2 ボランティア・市民活動センター機能の充実

⇒多様なボランティア活動と参加したい人をつなぐ機能や相談窓口の充実・強化を示します。

## 取組 3 災害ボランティアセンターの体制づくり

⇒発災時のボランティアセンターの設置・運営。市民の参加による継続した立ち上げ訓練実施や体制づくりなどを示します。